

人頭形土製品が大英博物館に

国の重要文化財に指定されている南羽鳥中岫^{なかのごき}1遺跡出土遺物のうち「人頭形土製品」が、英国の首都ロンドンにある大英博物館で9月10日～11月22日に開催される「土偶展」に展示されることが決まりました。市が所有する文化財資料が海外展に出品されるのは初めてのことです。



人頭形土製品



顔を横に向けた状態で出土

「土偶展」は、文化庁、大英博物館、東京国立博物館が主催するもので、日本の優れた文化財を外国へ紹介し、我が国の歴史文化に対する理解を深める目的で開催されます。

「土偶展」に出品されるものは、市の「人頭形土製品」をはじめとして、国宝2件、重要文化財27件、そのほかに我が国の代表的な土偶、土器など70点ほどです。

「人頭形土製品」は土偶とは違い、写実的で異色な存在ですが、我が国の縄文時代を代表する遺物ということで、選定されました。

大英博物館での展示が終わると、「帰国展」として今年の12月15日～来年2月21日に東京国立博物館でも展示される予定になっています。

平成15年に
国の重要文化財に指定

南羽鳥中岫1遺跡出土遺物は、「人頭形土製品」と、そのほかの土器・土製品9点、石器・石製品10点で構成され、平成15年5月29日に国の重要文化財に指定されました（「広報なりた」平成15年4月15日号掲載）。

これらは、普段は県立房総のむら・風土記の丘資料館で展示されています。

顔面の造形を
リアルに表現

南羽鳥中岫1遺跡は、旧石器時代から平安時代まで断続的に続いた遺跡で、平成6年に発掘調査が行われました。

遺物の出土した地点は、豊住工業団地の北側に位置し、縄文時代前期（約5,500年前）の住居跡19軒と300基を超える土坑^{どこう}掘りくぼめられた穴^{あな}が見つかりました。土坑はその形態などからお墓と考えられています。

出土した遺物の中で、際立った特徴を持っているものが「人頭形土製品」です。



重要文化財南羽鳥中岫1遺跡出土遺物

縄文時代の土偶には写実的なものがないのに対し、「人頭形土製品」は、目、鼻、口などがリアルに表現されるなど、デスマスクを想起させる他に類例のないものになっています。



(注) 遺跡は現在ゴルフ場になっているため見ることはできません

※くわしくは生涯学習課文化振興室(20-115334)へ。